

平成24年度宇都宮市学習と生活についてのアンケート（宇都宮市立清原北小学校1年）

■分析と今後の指導上の工夫

- ・ 学習については、「勉強が好きですか」の質問に8割程度の児童が好きと答えており、教科ごとの質問にもすべての教科において市の平均を上回っている。学習の時間については、昨年に比べ個人によるばらつきが大きい、ほぼ8割以上の児童が土曜日、日曜日にも20分以上～1時間30分くらい家庭学習に取り組んでいる。授業への取り組みについても、チャイムでの着席、話を聞くことなどどの項目に関しても市の平均を上回り90%の児童が「はい」と答えている。また、学習に対する気持ちや、学習の仕方、家庭での学習、「学校生活に満足していますか」についてもほぼ全員が「はい」と肯定的な回答を示しており高い学習意欲をもって充実し安定した学校生活、家庭生活を送っている様子が伺える。

しかし、「普段から、不思議だと思うことがある」の肯定割合は他の質問事項に比べて低い傾向にあるので、疑問や、興味や関心をもったことについて、広げたり、深めたりできるように授業の形態や方法を工夫・改善したり、学校生活の中で疑問を持たせたり普段から周りのことに関心を持たせたりしていきたい。

- ・ 毎日の生活については、あいさつや学校でのきまり・約束についても高い割合で肯定しており学校や家、地域でもあいさつをしていると答えた児童が多く、好ましい傾向にある。今後も、大きな声で気持ちを込めてあいさつをしたり、自分から進んで相手にあいさつをしたりできるように指導を継続していきたい。
- ・ 読書に関する質問では、個人によるばらつきが大きく、平日、土日にかかわらず毎日20分以上読んでいる児童もいるが、ほとんど読まないという回答が、市の平均や、昨年度との比較において増えており、読書習慣が定着していない児童もいる。今後は、家庭読書の励行、学校でも本を借りる時間ばかりでなく読む時間を確保したい。時間をとって、計画的な読書指導を続けていきたい。
- ・ 「1日にどれくらいテレビゲームやパソコンゲームをしていますか。」という質問に対しては、持っていない児童が2割ほどおり、平日ほとんどしない児童は4割、だいたいの児童は1時間以内となっている。「1日にどれくらいテレビ、ビデオ、DVDを見ていますか」と「1日にどれくらいテレビゲームやパソコンをしていますか」という質問に対しても、平日、休日ともにほとんどの児童が1時間以内であるが、なかには休日になると3時間以上と答えている児童がいる。家庭に視力や姿勢などの健康面を考えて呼びかけていきたい。学校がある日の就寝時刻については、全児童が午後9時頃までに寝ていると回答している。起きる時刻も午前7時までには100%の児童が起きていると答えており、睡眠時間は十分足りていると思われる。しかし、「朝、自分で起きること」や「決まった時間に寝ること」は、他項目に比べ肯定割合が低く、自立できていない児童も多い。今後も家庭への啓発や、児童への指導・支援をしていく必要がある。
- ・ 体力や健康食事については、朝食はほぼ全員がとり、また好き嫌いなく食べている児童の割合も高く、好ましい傾向にあるといえる。「運動は好きか」や「歯磨きをしているか」、「健康や体力に自信があるか」の質問に対しても高い割合で肯定しており、健康・体力への意識が高い様子が伺える。「休み時間や放課後、休日などに、自分から進んで運動をするようにしていますか。」という質問についても、肯定割合が高かった。今後はさらに、「お箸を正しく使って食事をしていますか」は肯定的な回答の低かったので、学級活動の指導に位置付け指導を強化するとともに、給食指導の場での指導を継続するようしていきたい。また、体や運動と日常の生活の関係に関して興味や意識をもたせるために、積極的に養護教諭や栄養士などの教員と連携し児童へ働きかけをしていきたい。

